

ほっと にゅーす

このコーナーは、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介するページです。
 あなたが見つけたおもしろいものがあれば、企画広報課広報広聴グループ（☎65-6504）までお知らせください。

5/15(日)



横山岳山開き

登山シーズンが到来し、新緑鮮やかな木之本町杉野で横山岳山開きが行われました。
 横山岳はブナの原生林で知られ、登山道の管理や整備は、地元の「杉野山の会」が行っています。たくさんの登山客が気持ちよく整備された登山道脇の山野草を楽しみながら、標高1132mの山頂目指して健脚を競いました。

5/14(土)



決意を新たに！消防団結団式

7つの消防団による連合消防団として活動してきた市の消防団が、1つの団としてまとまりました。新長浜市消防団は、10の方面隊で構成され、団員数2014人、車両34台を装備する県内最大の消防団です。
 結団式では、私立保育園「チャイルドハウス」の園児による演奏に続いて、藤井市長が、「今後も安心安全な生活の確保に尽力して欲しい」と式辞を述べました。

5/6(金)



三姉妹博覧会35万人突破

「小谷・江のふるさと館」で入館者数35万人達成セレモニーが開催されました。35万人目の来館者は愛知県日進市から来られた岡本彩子さん。長浜が好きで何度も来られているそうです。この日は2人のお子さんとお母さんも一緒。市長は「お子さんたちは平成のお江のようにたくましく育ててほしい、博覧会も次の目標を掲げて頑張っていきたい」と述べました。

5月～



まちの駅新商品

長浜まちなか・まちの駅では、市と友好都市である鹿児島県西之表市の特産品約30種類を販売しており、買い物客に好評を博しています。
 この特産品販売は、両市間ですでに行われている火縄銃砲隊の交流など人的交流に加え、経済的交流を図ることでさらに結びつきを深めようといわれたものです。本来は、鹿児島県でないと手に入らないこれらの商品。この機会に味わっててください。

5/15(日)



奥びわ湖健康マラソン

さわやかな五月晴れの下、「第31回奥びわ湖健康マラソン」が開催されました。参加者数は過去最大の2608人にのぼり、幅広い年齢層のランナーたちが新緑の湖岸コースをそれぞれのペースで元気よく走り抜けました。また当日は西浅井中学校の生徒が受付やエイドなど参加者を支えるボランティアとして活躍しました。

5/9(月)



宝塚トップスター来浜

長浜ゆかりの戦国武将 石田三成を主人公にした宝塚歌劇「美しき生涯」の公演を前に、出演者で石田三成役の宙組トップスター大空祐飛さんが、三成の出生地である石田町を訪れ、公演の成功を祈願しました。供養塔で手を合わせた大空さんは、「出生の地であるこの場所で、三成の魂を感じられた気がする。その美しき生涯を演じたい」と決意を語りました。

5/7(土)



余呉山菜まつり

余呉の春の風物詩としてすっかり定着した山菜祭りがはごろも市にて開催されました。今年は気温が低かったこともあり収穫量は例年より少なめでしたが、山ウドや山椒、ワラビなど様々な種類の山菜が並べられました。訪れた人たちは山菜を手に取り、料理の仕方などを聞くなどして楽しいひと時を過ごしました。

5/14(土)・15(日)



レッツウォーク!

今回で19回目を数える、県内最大のウォーキングイベント「びわ湖長浜 ツーデーマーチ」が豊公園を発着点に開催され、およそ4100人の参加者が初夏の湖北路を歩きました。
 2日間ともすっきりとした青空が広がる絶好のウォーキング日和となり、参加者たちは、それぞれのペース歩き、湖北の自然や名所旧跡を満喫しているようでした。

5/10(水)



環境農業 ニゴロブナの放流

激しい雨の降る中、長浜農業高校生物活用科の3年生が学校の水田にニゴロブナの稚魚約5万匹を放流しました。天敵がおらず、微生物などの餌が豊富な水田はニゴロブナにとって育ちやすい環境で、ふんが肥料になるため無農薬の安全な米作りもでき、石二鳥。稚魚は7月中旬には琵琶湖に放流します。

歴ドラ隊日記 その3

博覧会を盛り上げPRするため結成された長浜歴ドラ隊。このコーナーは博覧会のことなら何でもこの彼女たちによる日記です。思わぬ裏話が聞けるかも……。

皆様こんにちは。茶々にございます。博覧会場は連日、大勢の客人で賑わっておりますよ。博覧会を通して、日本各地の方に長浜を知ってもらえること、ほんに嬉しいことになっていますね。
 今回は、各会場に一点ずつ展示された書作品を紹介するのはいかがでしょうか。去る二月三日、大河ドラマの「江」の題字を書かれた書家・菊池錦子様に、三姉妹それぞれの生き方からイメージする『生』を揮毫していただきました。揮毫前にお話させていただいた菊池様は、気さくなとても素敵な女性でございました。そんな方から書が生み出されるその時、慶雲館の会場は、言葉では表わせないほどの緊張感と雰囲気にも包まれました。
 茶々は、内に秘める気性の激しさを。初は、人と人をつなぐ糸を。江は、豊かな心と芯の強さを……。どのように書かれたのかぜひ見に行ってくださいませ。



▲揮毫なさる菊池様

長浜歴ドラ隊 茶々より